

未来を語る中学生会議

11月6日(木)、稲城市役所議会会議室をお借りし、「未来を語る中学生会議」を開催しました。この会議は、昨年度まで実施していた「稲城市長と中学生との懇談会」を発展させたもので、市立中学校の代表生徒が自分の意見を論理的に伝えながら議論を深める貴重な機会として設け、市議会の一般質問形式を模した内容としました。

会議では、生徒からの質問に対して教育部関係管理職が答弁する形で議論が繰り広げられました。さらに各校の代表生徒による意見表明も行われ、未来の稲城市に関する思いと提案が力強く語られました。



▷問合せ 教育総務課教育総務係

中学校職場体験

本市では、地域の事業所の皆様の温かいご協力をいただき、毎年「職場体験学習」を実施しています。生徒たちは実際の職場で働く方々と関わり、仕事の大変さややりがいを体感することで、勤労の意義や社会の仕組みを深く学びます。この体験は、将来の進路を考えるとともに、挨拶や礼儀、コミュニケーションなど社会人としての基礎を身につける貴重な機会です。

地域の皆様のご理解とご支援があってこそ成り立つ教育活動であり、子ども達の成長を支える大切な学びの場となっています。今後とも温かいご協力をお願いいたします。



▷問合せ 指導課指導係

市立小学校のESD取組紹介

稲城第二小学校

稲作体験学習

令和7年度の稲作体験学習が無事に終了いたしました。春の籾ふり・田植えから、秋の稲刈り・収穫に至るまで、地域の農家、農協の皆様には大変お世話になりました。学年ごとに役割を決め、そのバトンを引き継ぎながら、二小全員でもち米作りに取り組みました。

収穫したもち米は、12月24日(水)の収穫感謝祭「みんなの思いをひと

つに」にて餅つきをし、紅白餅にして稲作協力者の皆様に配布し、感謝の思いを伝えました。全校児童にも配布し、各ご家庭で美味しく召し上がっていただきました。

この活動を通して学んだ「感謝の心」「協力することの大切さ」「食の有難さ」をこれからの学校生活に役立てていきます。



不登校対応合同報告会を実施しました

1月23日(金)、不登校支援の充実を図るため、市立小・中学校が参加する「不登校対応合同報告会」を開催しました。本報告の目的は、誰一人取り残さない学びの環境づくりに引き続き取り組み、教育委員会としても学校だけでなく市全体で子どもたちを支えるための大切な機会をつくることです。

当日は、市立小中学校教員、民生委員、児童委員、学校運営協議会委員、学校支援コンシェルジュ、幼稚園関係者、行政職員、市立小中学校保護者、民間企業等、また市外からも参加し、学校での支援体制や効果的な取組を共有しました。今後、教育と福祉が連携して子どもを支える体制づくりを進めてまいります。



▷問合せ 指導課指導係

「稲城チャレンジクラス」開設

「稲城チャレンジクラス」とは「不登校対応校内分教室」であり、令和8年4月より稲城第五中学校内に開設する予定です。このクラスは、心理的・情緒的な理由などにより登校が難しい生徒を対象とし、生徒一人ひとりの状況に応じた支援と学びの場を提供します。正規教員が担任を務め、スクールカウンセラーや養護教諭、福祉分野等とも連携しながら、少人数でのきめ細やかな支援を行います。週20コマ程度の授業を通じて、安心して学校生活を送れる環境づくりを目指します。



▷問合せ 指導課指導係